

科目コード	記号	科 目 名		
2077	CS19	情報処理Ⅱ:Information Processing Ⅱ		
教 員 名		竹内正美:TAKEUCHI Masami		
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
2C	1・90分	必修	講義演習・後期	履修単位
授業概要	情報処理の基本を習得する。1年に続いてワープロの応用、表計算の基本および応用を身近な題材を用いた実習を中心にして説明する。 パソコンのハードウェアの基本について簡単な仕組みとOSについて説明する。			
	到達目標		評価方法	
1)ワープロが十分使える。 2)表計算ソフトが使え、データ処理できる。 3)基本的なパソコンの仕組みを説明できる。			評価方法は、①レポート、②期末試験で評価する。評価配分は、①60%、②40%とする。	
学習・教育目標		(B)	JABEE基準1(1)	
後 期				
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	ワープロ復習(1)	ワープロを用いて1年の情報処理で学んだことをレポートにする。	
	第2	ワープロ復習(2)	同上	
	第3	表計算ソフト(1)	表計算ソフトの一つである、Microsoft Excellについて、説明する。画面、データの入力、数式による計算方法を説明する。	
	第4	表計算ソフト(2)	関数による計算1、基本的な関数について説明する。	
	第5	表計算ソフト(3)	関数による計算2、相対参照・絶対参照について説明する。	
	第6	表計算ソフト(4)	グラフ機能1、(グラフを作る)について説明する。	
	第7	表計算ソフト(5)	グラフ機能2、(グラフの細部を調整する)について説明する。	
	第8	表計算ソフト(6)	sin・cosカーブその他の関数グラフについて説明する。	
	第9	表計算ソフト(7)	データベース機能(住所録の作成、データの並べ替え、データの抽出)について説明する。	
	第10	表計算ソフトの使い方 テクニック(1)	入力、セル操作、書式について説明する。	
	第11	表計算ソフトの使い方 テクニック(2)	グラフ、印刷について説明する。	
	第12	パソコンのハードウェア(1)	パソコンの構成、BIOSとOS、デバイスドライバ、CPUについて説明する。	
	第13	パソコンのハードウェア(2)	マザーボード、メモリ、グラフィックカード、ハードディスク、リムーバブルドライブ、カタログ等について説明する。	
	第14	総合演習	全体的な捕捉説明を行い、理解を深める。	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。		
関連科目		情報処理Ⅰ		
教 科 書		高度情報社会に向けた情報処理入門(横沢正芳ほか著・培風館)		
参 考 書				
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備 考				